

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	心の森
------	-----

公表日 令和6年12月21日

利用児童数

20名

回収数

17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に子どもたちが活動しているところを見ていないので何とも言えない ・人数が多いと少し狭いように思います ・デイのスペースだけでなく、子ども円のスペースも使わせてもらっているので十分確保されていると思います ・成長をともに体がどんどん大きくなり、欲を言えば自由に動けるスペースがもっと広ければ良いと思いますが、可能な範囲で安全に配慮した対応をいただけていると思う ・うちの子どももそうですが、利用している子どもたちが大きくなってきたので1階の部屋は少し狭いかもかもしれません。でもその分3階の広い部屋を使ったり、色々工夫されているように思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の活動を興味や関心に応じて選択できるようにしたり、活動によりスペースを区切ったり、場所を変えたり、できるだけ集中して活動できるような空間に整えたりする中で、活動を十分にできる配慮を継続していきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の適切な配置の継続及び活動内容、子どもの状況により安全に活動できる配置を行います
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・安全を最優先に、居心地の良い環境、視覚的支援等を用いた分かりやすい環境の中でそれぞれの子どもたちの自立を促せるような環境を目指します
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも素敵な空間で過ごさせていただいてうれしく思っています 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で心地よく過ごせる生活空間確保の継続をし、感染症予防対策にも努めます ・活動に応じて存分に活動に取り組める空間の確保、落ち着いて過ごせるスペースの確保、子どもの動きや特性に配慮した上で安全に過ごせる空間の確保を随時検討していきます
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなコミュニケーションが取れたか等、送迎時に報告があり、子どもの興味に応じた声掛けをしていただいて本人も楽しめているなど感じています 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルアセスメントを通して子どもの全体像を、日々のインフォーマルアセスメントを通して場面ごとの子どもの姿への理解を深め、職員間で共通理解を持ち、一人ひとりの強みを引き出せるような支援をしていきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な支援プログラムの見直しを行うとともに実際に提供している支援内容と相違がないかも事業所全体で確認する機会を作っていきます
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・インフォーマルアセスメントを日々の関わりの中で行い、課題分析を実施します ・個別支援計画作成時には、保護者と面談を実施し、ニーズや課題について共通理解が持てるよう努めていきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定時には子どもたちの強みを最大限生かせることを意識します ・スモールステップによる目標達成のイメージをしっかりと持てるような具体的な支援内容を記載します
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に内容を全職員で周知し、計画に沿った具体的な支援を共通して行えるようにします
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの姿を明確に捉え、興味・関心に応じた活動計画を行います ・活動プログラムや支援プログラムを4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に実施していきます

保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・併設している認定子ども園との日常的な交流の機会の提供や児童館との交流等を計画的に行い、多様な関わり、豊富な経験ができるようにしていきます。また、多様な関わりの中での子どもたちの成長を保護者と共有していきます ・法人として取り組んでいる「幼老障の共生」の意義について保護者の皆様にお伝えする機会を作ります
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時のみでなく、報酬改定時や支援内容の変更があった際などに文書を用いて説明を行います ・支援内容について、個別にお迎えの際に口頭で伝えたり、連絡帳に記載したり、ドキュメンテーションの作成をし、保護者の皆様にお伝えします
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい言葉で個別支援計画を作成します ・個別支援計画を示しながら、目標の設定理由、具体的な内容を説明する中で共通理解が持てるようにします。また、希望や子どもの状況によって計画がいつでも変更できることも併せてお伝えします
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で、お困りごと等への助言を行います ・保護者の皆様のペアレント・トレーニング等のニーズの把握に努め、実施に向けて検討します ・保護者向けの研修等の案内を情報提供として共有します
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子をお聞きしたり、利用時の様子を伝えたりする中で、現状の把握や「こういうところを伸ばしていこう」という共通理解ができているか、都度保護者の皆様と確認します
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時期に合わせて年2回の面談を実施します ・個別面談の機会等を利用し、子育ての悩み等を定期的にお聞きさせていただく機会を設けます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人の教育・保育の特色として、子どもも保護者もまず「まるごと受け入れる」を基本姿勢としています。受容され、信頼されることにより、人への基本的信頼感が培われることへの理解を深め、共感的な支援を心がけます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて先日イベントに参加させていただき、普段お会いできないほかの保護者の方とお会いしてお話させてもらったり、ほかの保護者の方が子どもさんどう接しておられるのかが見れてとてもよかったです。そのイベントできょうだい同士も交流できていたのではないかと思います ・最後の方しか参加できませんでした。生活介護「花の森」等の説明等あったようでとても勉強になるのではないかと思います。今後きょうだい向けイベントや交流等あれば参加してみたいと思います。なかなか障害を持ったきょうだいの交流がないのであればいいなあと思います <ul style="list-style-type: none"> ・保育参加やイベント等保護者同士、きょうだい同士の交流の機会を作っていきます ・また、子どもたちや保護者の皆様に将来をイメージしていただけるような活動の提供や様々な人とのつながりを作る、居場所としてのつながりを継続する活動の提供を行っていきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事のお返事は速やかに対応していただいております。大変助かっています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時(帰り)にその日のエピソードや様子等をどのスタッフの方でも伝えられるようにしていただきたい <ul style="list-style-type: none"> ・個別に意思の疎通方法を検討します ・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等を漏れなく、保護者に伝達します

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0	・毎月のおたより、ドキュメンテーションにより発信します ・自己評価結果について、説明する機会を設け、内容についても全利用者に配布します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2	・個人情報の取扱い方針に沿って対応します ・定期的に事業所内で研修の機会を設け、個人情報の取扱いについて確認するとともに重要性を啓発していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	2	・各種マニュアルの定期的な見直しとマニュアルに沿った対応の徹底をします ・改めて保護者の皆様に周知する機会を設けます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	3	0	3	・以前に説明を受けているかもしれませんが、考えてみれば非常災害時の重症児を守る方法は自分自身でも知っておかないといけないことだと改めて考えました ・計画的に訓練を実施し、振り返りを行い、非常災害時に備えます ・訓練実施後には、保護者の皆様にも共有いたします
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	0	0	・安全計画の定期的な見直しや更新及び計画に沿った事業運営が行われているかの自己点検を行います。また、保護者の皆様にも安全確保の取り組みについて、共有する機会を設けます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	1	・発生したことがないのでわからない ・事故等（怪我等）の発生があれば、その大小に関わらず、速やかに連絡や事故発生時の状況等について、保護者にご説明させていただきます。また、全体で共有すべきことにつきましては、保護者の許可を得て全利用者に報告、共有をし、再発防止策についても併せて報告をいたします
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	1	0	・怪我については十分に留意していますが、突発的に起こることも多く、防ぎきれずにご心配もおかけしている状況があります。こどもたちは関わりの中で、自分とは違う考え方があることを知る、一緒に活動するおもしろさ等、日々たくさんの学びを得ており、情緒面の成長に欠かせないものです。気持ちの行き違いから突発的に「たたく」「ひっかく」という行動についても課題として取り組んでいるところです。気持ちを伝え合い、理解を深める、どのようは表現が望ましいのかを考えることをその都度繰り返し行い、成功体験を積み重ねる中で、適切な関わりを目指していきます。 ・また、事業所内で発生した事故、怪我は事業所の責任として対応させていただきます。一方で、こどもたち同士のトラブルにつきましては、どちらかにだけ非があると判断できるものではありません。当法人の方針として、怪我の大小に関わらず双方の保護者様に状況を報告をさせていただいておりますので、ご理解をお願いいたします
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	・様々なお友だちとの交流の機会に恵まれて、楽しんでいると感じます ・こどもたちが自ら感じ、考え、行動することを大切に見守り、学びや成長を支えています。また、安心して過ごせる場、思いを出せる場という側面も大切に受容的な関わり、環境を継続して作っていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・こどもも親も大満足です。先生方には感謝しかありません！！ ・家庭ではできない体験をさせていただいたり、肯定的に見ていただいて感謝しています ・温かいお言葉をありがとうございます。今後もこどもたち、保護者の皆様にとってなくてはならない存在になれるよう質の向上を目指して職員一同取り組んでいきます